

高根沢町新庁舎整備検討委員会 議事録

会議名	第1回 高根沢町新庁舎整備検討委員会
日 時	令和3（2021）年10月27日（水）15：00～16：45
場 所	高根沢町役場第3庁舎 第1・第2会議室
出席者	【委員】 佐藤栄治、小林修、牧恒男、笹崎明久、佐藤永倫、山本容子、山崎康之、檜山武郎、稲葉和彦、見目智史、高瀬美貴子、齋藤満則、加藤幸子、加藤正秋、栗橋幸子、五月女昌寛、櫻井典子、軽部守人、二宮絵美、伴内由香 【町長】 【事務局】 熊田総務課長、加藤（栄）係長 【その他】 1人（宇都宮大学学生）
傍聴人数	1人（報道関係者）
内 容	1 開会 2 町長あいさつ 加藤町長より、庁舎の老朽化が著しく、新庁舎の整備を行うこととなったが、この検討委員会で、例えば整備手法や災害による被害の軽減、施設の集約化などについて議論をされるかと思うので、皆様の様々なご意見をいただきたい旨のあいさつがあった。 3 委嘱状交付 町長より、委員を代表して佐藤栄治委員へ委嘱状を手交した。 4 委員・事務局紹介 各委員紹介 事務局紹介 5 委員長・副委員長選任 委員長、副委員長の選任について、委員から、委員長に佐藤栄治委員を、副委員長には牧恒男委員を推薦する意見があり、全会一致で承認され、決定した。 6 諮問書提出 町長より佐藤栄治委員長へ諮問書を提出した。

7 議事

(1) 委員会運営に関する確認事項

事務局より、**資料1**に基づいて

①新庁舎整備検討委員会の位置づけ

②高根沢町新庁舎整備委員会運営に関する確認事項（案）

の説明を行った。

事務局説明後、「高根沢町新庁舎整備検討委員会運営に関する確認事項」について採決し、案のとおり決定した。

(2) 現況の確認

事務局より、**資料2**に基づいて

①高根沢町の状況

②本庁舎の概要

③基本的な整備方針

の説明を行った。

<質疑等>

委員：資料に「公共施設総合管理計画によると、町の公共施設数は約70施設ある」とある。今後の協議の中で集約等の話になると思うが、地図上でこのような機能を持つ施設がこの場所にある、ということを示していただけるとありがたい。

事務局：今後の会議で必要となる資料については随時お示ししたい。

「公共施設総合管理計画」については次回お渡しする。

委員長：職員さんに、庁舎で使いづらいところがあればお聞きしたい。

委員：どこに何があるのかわかりづらく、案内ルートも分かりづらい。

委員：2階に上がる場合に階段しかなく、高齢者などに不便を強いており、今後の人口推移をみると、改善は必要だと思う。また、会議室などのスペースが足りないので、増えるといいと思う。

委員長：他に何かありますか。

委員：役場の建て替えを目指すということが、我々に与えられた課題で一番大きなものだと思う。自分は、東日本大震災地があったときに、まず役場が大丈夫かと心配になった。大きな地震がある度に住民として不安に思うのが、災害時に機能しなければならないセンターが無くなって指示が出せないということになったら…ということ。建替えという話を聞いて、やっと進んだのかという思い。いい議論を進めていきたい。

委員：今回、古くなった本庁舎を建て替えるということだが、例えば協議の中で、この場所をやめて改善センターの方に機能を移す、という話になれば、そのようなことも検討の中に入ってくるのか。

事務局：皆さんのご意見をお聞きして、そのような話になれば、そうした検討をする可能性はある。

委員長：そういったことも含めて、「公共施設等総合管理計画」の話が出たのだと思う。庁舎整備に関しては何も決まっていない状態なので、これからの議論になってくる。

(3) スケジュールの確認

事務局より、**資料3**に基づいて

①各種計画との関係と基本構想・基本計画の位置づけ

②事業スケジュールと基本構想・基本計画の策定時期

について説明を行った。

<質疑等>

委員：基本計画の策定までが、この委員会の仕事になるのか。

事務局：そのとおり。

委員：学校規模適正化委員会の意見は入ってくるのか。

事務局：一体的に議論した方がいい場面が出てくれば、学校の話も一部入ってくる可能性はある。

委員：最初から学校適正化の話を盛り込んでいくわけではなく、もしそのような話になったら、ということか。

委員：学校と庁舎は基本的に別々に捉えたほうがいいのでは。

事務局：公共施設総合管理計画の中では学校も庁舎も町の公共施設として入っているが、学校は個別の計画として委員会を立ち上げているので切り分けていただいて、この委員会ではその他の施設と本庁舎をどうするか検討していただくことを考えている。

委員：学校適正化委員会でもし学校を統合する、建替えるというような話になったときに、そちらの都市計画と庁舎の都市計画が合わさった方が、町に将来的な統一感があるような話になると思う。別の機能ということは分かった上で、別々で考えるよりは、都市計画などの面では連携をした方がいいのではないかと、思った。

事務局：学校と庁舎がまったく関係がない、というわけではない。その場所に何があるかということが、次の建物の計画に影響する可能性はあるので、全体として考えなければならないことはどちらの委員会も同じであると思う。そういった意味で、議論の行方によっては関係する“こともある”ということ。

委員：庁舎の話と都市計画の話を一緒にすると、どちらも進まなくなってしまう可能性があるのでは。別々に議論していき、決まったことだけを情報共有すればいいのではないかと。

委員長：新庁舎の位置を決めるときに、学校の位置に関連が出てくる。

庁舎や学校に様々な機能が付くことはよくある。そういったことは全体計画で見えてくるものだが、まず庁舎は必要な機能から決めていかなければならない。場所も決めなければならぬ。場所が決まれば、何となくそこに付けられる機能はどういうものか段階的に決まっていくので、随時情報交換をしながら進められれば、と思う。

委員：エレベーターが無く、車いすの方の移動への配慮がされていなかったり、点字ブロックが無く、全盲の方への配慮が足りなかったりする。バリアフリーの視点を取り入れていただきたい。また、役場に来たときにどこで相談したらよいのか分からないことが多いので、わかりやすい表示をつけることなどを考えていただければと思う。

委員長：新しい建物を作る場合に、そういった配慮をしないということは社会的にあり得ない。様々な配慮を含んで検討していくことになると思う。一方、ゼロカーボンの項目はそういうものとは別で、これを実現しようとする多額の費用がかかる。それをどこまで市民が許容するのかということもあり、慎重に議論を進めていく必要がある。

委員：震災では停電があった。新庁舎は太陽光発電や蓄電池で、停電時でも活動できる程度の機能はあって欲しい。

委員長：防災の面で、エネルギーを何パターンか分散して持っていることは必要であり、常時稼働してどれくらいエネルギーが供給できるのかということは、検討事項としては必要だと思う。

(4) その他

委員：次の委員会は何を議題にするのか、何について検討していくのか決めて会議に臨んだ方が検討しやすいと思うので、事務局にお願いしたい。

事務局：次回の通知までには、どのような議題になるのかお示ししたい。

8 その他

宇都宮大学の学生より、近年の庁舎の事例紹介があった。

次回会議の開催予定を確認した。

9 閉会